

★★

巻頭言 元時事通信記者 篠田憲明

自民党内に岸田“野垂れ死に退陣”の声

★★

自民党安倍派の裏金疑惑に関する東京地検特捜部の捜査が同派の事務総長経験者は共謀の事実はなく・嫌疑不十分となり、“雑魚3人の逮捕”で終わった。別ルートで岸田派の事務局に司直の手は及んだものの、バッジ組の逮捕無しでこれも“肩透かし”のまま。岸田首相に至っては、「宏池会（自民党岸田派）を解消する」と宣言し、安倍派、二階派らもこれに追随した。残る、麻生、茂木、森山各派もこれに慎重だが、結局、マスコミや世論に負けて“偽装解散”するかもしれない。

各社の内閣支持率調査の結果は一応の“目くらまし”作戦に成功したのか、各社とも下げ止まった。とはいえ、自民党に対する支持率が一気に冷え込んでいるのが、最新調査の顕著な傾向。自民党内には「このままでは岸田総理・総裁の旗では戦えない」（自民党閣僚経験者）との声も強くなっており、さらに安倍派の“裏金疑惑”に関係していないはずの麻生、茂木派では「我々は半政権側になった。岸田政権を支えようにも、何の相談も無ければ支えようがない」との声が高まっており、むしろ“野垂れ死に退陣”を予想する向きが少なくない。

各社の内閣支持率は朝日新聞、NHK、読売新聞なども20%台ではあるものの、これ以上の急低下は避けられている。しかし、興味深いのは政党支持率だ。自民党の支持率が2012年に政権に復帰して以来史上初めての低さだ。時事通信の14.6%台は特に酷い。今年、「派閥解消宣言」した後の調査ではあるのに、“岩盤支持率”3割台との定説だった、自民党支持率の急降下である。所謂“青木の法則”によれば、内閣支持率と自民党支持率の和が「半数」を超えていれば自民党政権は安泰だが、最早「40%」を下回っている数字もある。「この上、能登半島地震への初動の鈍さなどがあり岸田さんの下で国政選挙は戦えない」（自民党関係者）従来、岸田首相は若者・女性の支持率が低いだけでなく、高齢者・男性の支持率が多いとされる自民党の支持率が大きく低下している。NHKの調査でも、自民党の支持率が2012年に政権復帰して以来初めて30%を割り込んだ。「このまま衆院解散したら、自民党の負けは確実だろう」との声が自民党内に出てきた。

自民党の下野が視野に入ったとは言え、野党の支持率は低いまま。立憲民主党がやや上昇

した程度。野党第2党の「日本維新の会」は伸び悩み。両党を足しても10%台。この数字では、野党に政権を任せようとの国民は少ない。それが今回の東京都内の八王子市長選挙で自民・公明の与党政権が支持応援した候補が勝利した。ましてや来年秋の自民党総裁選挙で岸田氏に対抗する人材は少ない。結局、「岸田氏の方がマシ」との見方が有力。「派閥解消」と言っても一時的。いずれ政策集団に“衣替え”して出直すに違いない。またいつか見た悪夢である。政権党だった民主党政治が悪いのか、政権復帰後の自民党を甘やかしてきたわれわれ有権者の責任かもしれない。

★★

勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫
「インド人の考え方を変えた出来事（2023年8～12月）」

★★

以下は、インド人により大きな自信、信頼、楽観、希望を与えたようです。

● 月探査機「チャンドラヤーン3号」の月面着陸成功



● 議員の33%を女性とする法案が成立。現在は約15%が女性



- アジア大会で過去最多の 107 個のメダルを獲得。前大会では 70 個



- ベンガルール空港第 2 ターミナルが世界で最も美しい空港に選ばれる



英国の経済学者ケインズ（写真）は 1936 年の著作で、「アニマルスピリッツ」という言葉を用いています。日本語では、「血気」とか「野心的な意欲」、「動物的な衝動」などと訳されています。

ケインズは、「市場はアニマルスピリッツによって動く。理由によってではない。」と言っています。そして、アニマルスピリッツが欠如すると、個人は貯蓄を企業は内部留保を増やし、その結果需要と利益が減少し経済は縮小すると指摘しています。近年の日本の様ですね。

インド人の昨今の考え方や物事の見方（マインドセット）の変化は、同時にこの「アニマルスピリッツ」が旺盛になっている現れとも捉えられます。上記のイベントの写真にあるように、インドは科学技術の進歩、女性の社会進出、運動能力の向上、美観の向上などで、大きな躍進を遂げています。そして、それらの出来事がインド人の考え方を換え、アニマルスピリッツを鼓舞しているようです。

この勢いは多分独立 100 周年の 2047 年頃までは続くと見られます。その頃のインド経済の立ち位置は、現在とは様変わりになっているでしょう。



~~~~~ お知らせ ~~~~~

好評発売中。インド株投資の前には一読ください。



★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ムッシュ望月の今月の相場展望と映画紹介

映画は世につれ、世は映画につれ、世相を反映するのが相場

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

相場展望：新高値に向けて相場のスタートが切られた！

2023 年は「卯跳ねる」の相場格言通りの展開となり、上昇率は 22 年の大納会終値 2 万 6094 円から 2023 年大納会終値 3 万 3464 円まで 28.2% の上昇、上昇幅は 7369 円となった。この上昇率はアベノミクスに沸いた 2013 年（巳年）の 56.7% 以来のことである。また上昇幅はバブル絶頂期の 1989 年（8756 円）以来の大きさである。この上昇相場でのトップの上昇率は 483%、船舶用ディーゼルエンジン専門メーカーのジャパンエンジンコーポレーション（6016）で、2023 年 4 月に次世代燃料エンジン関連として脚光を浴びた。5 位に入った生成 AI 関連のさくらインターネット（3778）は 6 月に AI 開発向けの整備で経済産業省が資金援助することが明らかになり、11 月には政府クラウドをめぐりデジタル庁が同社を新たな提供業者に追加する発表、12 月に来日した米エヌビディアのファン CEO が生成 AI 開発の連携先として同社を上げたことで、12 月 5 日に約 7 年 11 ヶ月ぶりに上場来高値を更新した。6 位は半導体製造装置大手の TOWA（6315）は生成 AI の市場拡大に伴う高性能半導体需要が期待され 10 月 12 日に 5130 円と上場来高値を更新し、その後は青空天井となり 7000 円台後半まで歩を進めている。大幅な上昇相場だけに、128 社の上昇率が 100% 以上となった。時価総額ベースでみると、トヨタ自動車は 12 兆 6931 億円の時価総額増加となった、上昇率も 42.9% と大型株としては大幅な上昇となった。2 位は東京エレクトロで 5 兆 7987 億円の増加、僅差で信越化学が 5 兆 3091 億円と続いた。全体でみると、上位 40 社までが時価総額を 1 兆円以上増加させている。4 位はソニー、5 位が三菱 UFJ、6 位が三菱商事、7 位が中外製薬、8 位が日立製作所、9 位がリクルート、10 位がルネサスとなっている。今年は昨年「卯年」に続く好パフォーマンスが期待できる「辰年」に当たる。1987 年以降で見れば、子年の 39.8% に続く、27.9% と第 2 位を記録している。2023 年 12 月 29 日の終値は 33,464 円、1 月 17 日には高値 36,239 円まで上昇、上昇率 8.2% となっている。過去平均程度の上昇率とすれば、目標値は 43,000 円となる。ただ、日経平均を構成する 1 株当たり利益は、PER が 16 倍を前提とすると一株当たり利益（EPS）は 2687 円まで伸びる必要がある。現在の EPS2270 円から 18% 程度の増益が必要となる。今年は日銀による金融政策の転換、2 年連続の賃金の値上げ、新 NISA による資金流入が期待できる。海外の投資家も日本の大転換を期待して 1 月第 2 週には大量の買い越し（1.4 兆円）があった。株式市場は

業績だけでなく、人気も大きく影響するだけに、PER が 16 倍を越す局面があることも想定したい。(純記)

映画：邦画より「PERFECT DAYS」

2023 年 12 月は 10 本の作品に出合い、年間通算 136 本となりました。60 歳から始めた年間 120 本目標は、コロナ時期の 2 年を除いて達成しました。どこまで記録を更新出来るかは分かりませんが、そこに映画がある限りが見続けます。12 月に出合った映画は、アニメすみっこぐらし、ナポレオン、アニメ窓際のトットちゃん、ウォンカとチョコレート工場のはじまり、あの花が咲く丘で君とまた出会いたい、怪物の木こり、ほかけ、市子、作家と娼婦(ラ・メゾン)、ポトフです。今回紹介するのは 2024 年 1 月最初に見た映画の「PERFECT DAYS」です。男の運転する車から多少わびしげではあるが「朝日のあたる家」が聞こえてくる。この音楽で先ず映画に引き込まれていった。主演・平山は役所広司で、毎日を公衆トイレの掃除をしながら淡々と過ごしている。スカイツリー近くの古いアパートに暮らし、一日の過ごし方は決まっている。時間通りに朝方目覚めると布団を畳んで歯を磨き、髭をそり、清掃員のユニフォームに着替え、観葉植物に水をやり、部屋から出ると自動販売機で缶コーヒーを買い、車に乗って首都高で仕事場である渋谷に向かう。車内ではカセットで 1960～1970 年代の洋楽を聞く。昼は代々木八幡の境内の木陰でサンドイッチを食べる。仕事を終えると銭湯の一番風呂に入り、夕飯は浅草の焼きそばが名物の「梅ちゃん」で決まったメニューを頼み、家では寝そべって文庫本の小説を読む、この生活を続けている。劇中で役所がしゃべるセリフは数えるほど、それでいて平山という男の日常と、人間関係を含めて余計なことを削ぎおとしてきた代償として、彼が背負っている寂しさが全身からただ寄ってくる。生活の中で途中、清掃員の同僚に相談されたり、長年会っていなかった姪が訪ねてくることはあっても、大きなドラマはない。ドキュメンタリーに綴られていく。この作品の監督のヴィム・ヴェンダースは、小津安二郎監督を敬愛している。名優笠智衆が小津作品の中で示す自然な存在感、この作品の役所広司が演じる平山には、相通じるものがある。ヴェンダース監督も平山を演じた役所には「穏やかさ、謙虚さ、大きな心」を感じたという。カンヌ国際映画祭で最優秀男優賞を受賞したのは納得がいく。人生を積み重ねてきた役所広司(68 歳)は円熟味を増し、名優笠智衆の領域に近づいてきたと言えそうだ。みていて心に沁み込むような温かい演技を、全身で感じてください。味わいのある必見の作品。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

## 24年2月以降のイカス倶楽部スケジュール

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

- 02月01日(木): 13:30～日比谷会投資クラブ
- 02月07日(水): 15:00～花咲投資クラブ
- 02月13日(火): 16:00～ムッシュのサロン・ド・経済
- 02月15日(木): 18:30～ムッシュ&ゲスト人生経済サロン(学生対象)
- 02月17日(土): 15:00～スペリオール投資クラブ
- 02月22日(木): 15:00～東京3Eクラブ
- 03月06日(水): 13:30～日比谷会投資クラブ
- 03月07日(木): 15:00～花咲投資クラブ
- 03月12日(火): 16:00～ムッシュのサロン・ド・経済
- 03月16日(土): 15:00～スペリオール投資クラブ
- 03月21日(木): 18:30～ムッシュ&ゲスト人生経済サロン(学生対象)
- 03月28日(木): 15:00～東京3Eクラブ

投資クラブは年会費 36000 円、**新設：学生向けは軽食付き 1000 円、ゲスト有**  
スポット参加の費用は 1 回 3000 円 (消費税込み)、会場はイカス事務所

第 25 回 (コロナ後再開) カラオケ会：24年03月22日(金): 18:00～21:00

2024年1月からは参加費が 7000 円。2月23日(金)は天皇誕生日に当たり中止

ムッシュのサロン・ド・経済 (+コラボ)：2月13日(火) 時間：16:00～ 政治と経済

### の関係

「中国から大量の資金流入 (1 月)、新 NISA 開始、日銀金融政策動けず (円安)」

コラボの朗読会 (40 分程度) 講師：郷圭子氏 (朗読家) 「演題：未定」場所：イカス事務所

サロン・ド・知久 (交流会)：参加費 3000 円、歩く会・特番は別料金

第 34 回：24年2月27日(火) 15:00～17:00、時間が変わります

「原真善美」シネマの続き +α— (新企画あり!!)、イカス事務局

特番：24年3月30日：「三宅あみと向島を歩く」、9:55 押上駅集合

お昼はうなぎ「前川」を予定 参加費：8500 円

第 42 回：イカス夏の交流会：2024年6月13日(木)午後6時～午後9時

外国特派員協会、参加費：10000 円、事前振り込み：9500 円

講師：帝京大学教授・フランスクラブ会員

NPO イカス：東京都港区新橋 3-16-12 横山ビル 6F

[info@npo-icas.com](mailto:info@npo-icas.com) <http://www.npo-icas.com>